

令和3年度第4回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料2

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
1 資料1	3	「近畿圏を中心に南海トラフ地震の今後30年の間に発生するという予測」 →「今後30年以内に70%以上の確率で起こると予測されている南海トラフ地震」 に修正	他の委員からの意見も踏まえたうえで検討します。
2 資料1	6	「また、地域の様々な社会資源とのネットワークを有する宇治市社会福祉協議会が策定する宇治市地域福祉活動計画においては、緊密な連携・協働の体制により推進します。」 →「また、本計画は、地域の様々な社会資源とのネットワークを有する宇治市社会福祉協議会が策定する宇治市地域福祉活動計画と緊密な連携をとって推進します。」 に修正	修正します。
3 資料1	48	デジタル技術の活用により「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を推進します。」というのは、具体的にどのようなことを想定されているのでしょうか。	デジタル技術を活用した情報発信や、スマートフォンの使い方講座の実施等による誰もがデジタル化による恩恵を受けられる環境整備を想定しています。
4 資料1	50	ここに書かれている通り、5者がその役割を明確にし、相互連携・協働することが必須です。そのために枠内の5者それぞれの役割について記述されている文面を熟読玩味しました。どうしても私の腑に落ちないところがそれぞれあります。 以下、疑問点と僭越ながら私なりの改正文を記します。 ○住民 1、「住民」以外はすべて具体的な事業を行う主体が明示されていますが、住民だけは漠然としています。住民個々の主体的な心構えはもちろん大切ですが、行政等4組織と連携・協働するためには、個々人ではなく住民組織が形成されていなければ、住民としての役割を果たすことはできません。町内会・自治会、喜老会、子ども会等の当事者組織が必要ではないでしょうか。 2、前段の文章ではサービスの利用者が先に示され「とともに担い手」とされていますが、利用者という意味を今少し明らかにする必要があります。 (案)「住民は、町内会・自治会その他喜老会、子ども会等の当事者組織として、みんなで支え合い、助け合う福祉のまちづくり、地域の特性に即した地域福祉を創生する主体＝担い手であります。個々の住民は福祉サービスの利用者として、行政や事業者と共に、より良いサービスに高める協働者であります。」	他の委員からの意見も踏まえたうえで検討します。
5 資料1	50	(4の続き) ○社会福祉に関する活動を行う人々 2行目の「喜老会等の当事者団体」は、「住民」に含まれ、ここでは削除するとともに、2行目後半を次のように考えてはいかがでしょうか。 (案)「・・・NPOや市民活動団体等で活動する人々で、地域福祉の支え手です。」	

令和3年度第4回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料2

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
6	資料1 50	(4の続き) ○福祉サービス業者 後段において、社会福祉法人の積極的な役割が示されていますが、他の事業者も同様の役割を果たすことが求められているのではないのでしょうか。従って5行目(案)「……を積極的に行う拠点としての役割を担っています。また、福祉サービスを行うNPO団体や企業も同様の役割を担っております。」	社会福祉法人においては、平成28年の社会福祉法の改正の際に「地域における公益的な取組」が、努力義務とされたため、特記しています。NPOや企業については記載の仕方を検討して修正します。
7	資料1 50	(4の続き) ○社会福祉協議会 記述の通りですが、私たちが求めるのはより専門的かつ先見的な視野に立つ役割です。1行目後半(案)「……身近なところでの様々な課題に取り組んだ学び合い、支え合いを通して高められた専門的知識・技能を生かして、まちづくりを進める役割が求められています。」	修正します。
8	資料1 50	(4の続き) ○行政 概ね示された通りですが、私は先にも記したように地域の特性に即した地域福祉を求めますが、一方、それが地域エゴや狭い独善性に陥ることを恐れます。私が行政に期待するのは、公平性と広範な視野(国や都道府県の動向も含めた)です。(案)2行目中ほど「……と利用促進、全市的な見地に立つ福祉のまちづくりに必要な環境整備……」	文面を下記のとおり修正します。「住民が抱える地域福祉の課題に対応して、公平な視点を持って、施策の総合的展開を図り、地域における福祉サービス基盤整備と利用促進、福祉のまちづくりに必要な環境整備を進める役割を持っています。」
9	資料1 51	本文5～6行目 ・事業を行い、 →事業を実施し、(イメージ図の矢印内の表現とあわせる) (理由) 原文の表現によると「これまでと同様の手法による事業評価」と解釈され、評価手法の弾力性が保てなくなってしまうため。現状の評価手法においては、感染症により比較年度を見直したことや、評価手法が実施所管課での内部評価であることなど、今後の見直し議論に耐えられる表現とすべきであるため	修正します。
10	資料1 51	本文5～6行目 ・これまでと同様、該当事業について毎年度評価を行い、進捗状況の確認を行います。 →該当事業について毎年度評価を行い、これまでと同様、進捗状況の確認や改革改善に取り組みます。 (理由) 事業評価は「目指す成果」を上げているかを確認し「改革改善」へ取り組んでいくものとして、第2期計画から一貫しており、「これまでと同様」であると理解しているため	

令和3年度第4回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料2

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
11 資料1	51	宇治市地域福祉推進委員会の役割として今後も、PDCAサイクルの進行管理をするのでしょうか。	第3期計画期間中において、宇治市地域福祉推進委員会がPDCAサイクルによる進行管理を行います。
12 資料1	全般	細かいことですが、「充実」という表現と「拡充」という表現が使われていますが、使い分けをされているのでしょうか。(使い分けをされているのであれば、どのような違いがあるのでしょうか)	関係課とも調整のうえでそれぞれ標記のとおり使用しています。